

おいしさの中心、安心の先頭へ。

2026年3月期 第2四半期 決算補足説明資料



LIFEDRINK COMPANY

2025年11月13日

本資料の取扱い上の注意

本資料は、株式会社ライフドリンク カンパニー(以下「当社」といいます。)及び当社グループの企業情報等の提供のために作成されたものであり、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される当社グループの目標、計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本資料の作成時点における当社グループの判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外の経済情勢、業界の動向、他社との競業、人材の確保、技術革新、その他経営環境等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なる可能性があります。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社グループがその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。また、業界、市場動向又は経済情勢等に関し、当社グループの見立て、予想、又は試算に基づく情報が記載されていることがありますが、これらは、本資料の作成時点における当社グループの判断又は考えにすぎず、実際の数値はこれらと大きく異なる可能性があります。

他社の財務数値その他の指標は、会計基準又は計算方法の違い等の理由により、当社における対応する指標と直接比較することはできません。

今後の状況の変更等が本資料の内容に影響を与える可能性があります。当社は、本資料を更新、修正又は確認する義務を負うものではありません。本資料の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

株式会社ライフドリンク カンパニー
2025年11月13日

サマリー

2026/3期
第2四半期

増産・増収
・営業増益

- 御殿場工場やOビバレッジ(以下「OBK」)の生産寄与、及びNビバレッジ(以下「NBK」)のフル生産化により、生産数量は前期比14%増加
- 生産数量増に対応した販売先確保により、売上高は前期比19%増加
- 物流費や労務費・人件費などの各種コスト増加を、売上増加やボトル内製化などのコスト削減でカバーし、営業利益は前期比で16%増加

2026/3期
取り組み
進捗

順調

- OBK山中湖工場は、単月黒字化を達成。また、ボトル内製化工事も完了し、2026/3下期の更なる収益改善を見込む
- ポッカサッポロフード & ビバレッジ群馬工場の取得準備、及びNBKのライン増設工事など、来期以降の生産数増への取り組みは順調に進捗

リスク情報

緑茶原料の
価格高騰

- 緑茶原料の市場取引価格が、10月以降、前年比約4～8倍の水準で推移
- 価格上昇に伴うコスト増の影響を軽減すべく、調達先の多様化や緑茶飲料の価格改定などで対応中

1. 2026年3月期 第2四半期 業績

2. (参考) 会社紹介

ハイライト:2026年3月期 第2四半期累計

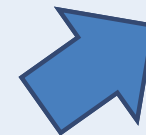
生産数量*1

43百万箱*2
(前期比+14%)



売上高

286億円
(前期比+19%)



営業利益

35億円
(前期比+16%)



EBITDA

46億円
(前期比+17%)



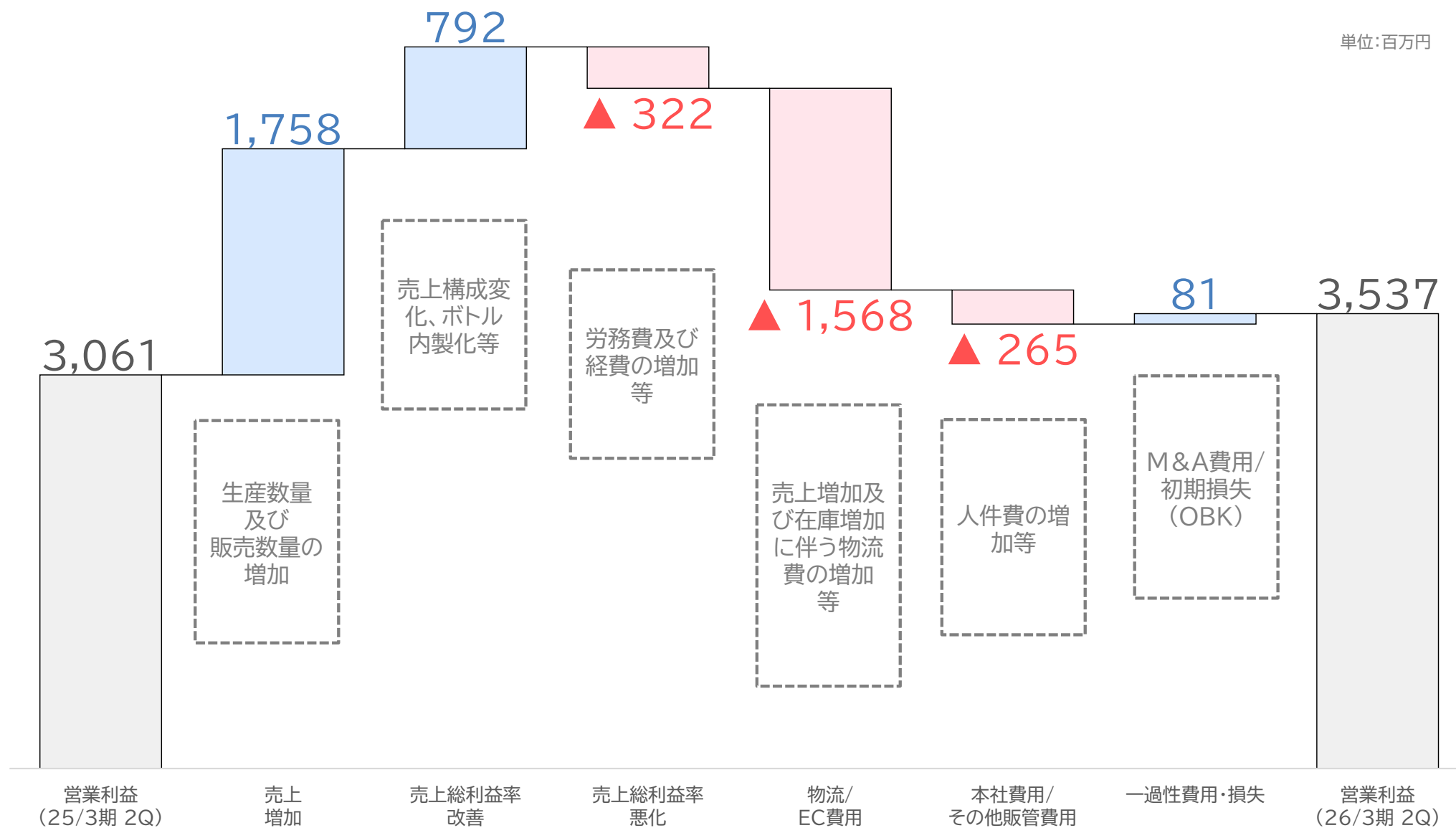
業績:2026年3月期 第2四半期累計

生産数量*¹の増加(前期比+14%)が寄与し、45億円の増収(+19%)。また、各コスト増を増収やコスト削減でカバーし、営業増益(+16%)となりました

単位:百万円	2025年3月期 (第2四半期累計)	2026年3月期 (第2四半期累計)	増減 (対前期)	前期比
売上高	24,087	28,668	+4,581	+19%
営業利益 (率)	3,061 (12.7%)	3,537 (12.3%)	+476 (▲0.4pt)	+16%
当期純利益 (率) (EPS* ²)	2,083 (8.7%) (39.89)	2,365 (8.3%) (45.26)	+282 (▲0.4pt) (+5.37円)	+14%
EBITDA (率)	3,937 (16.3%)	4,609 (16.1%)	+671 (▲0.2pt)	+17%

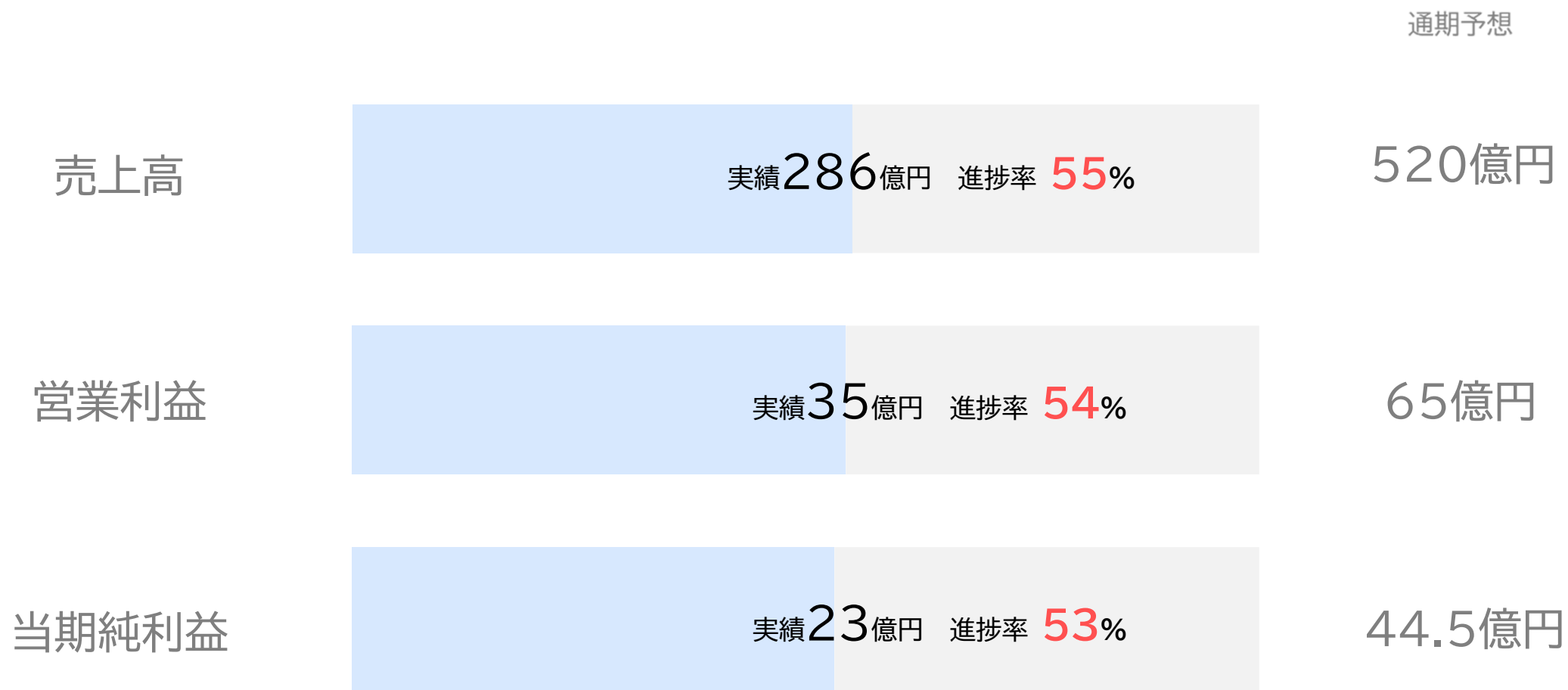
業績増減要因:2025年3月期 第2四半期との比較

売上増加や在庫増加に伴う物流費の増加を増収及び生産性向上/コスト削減でカバーし、営業利益は前期比4.7億円増加しました



業績の進捗:2026年3月期 第2四半期累計

通期予想に対する進捗率は、売上高が55%、営業利益が54%となっています

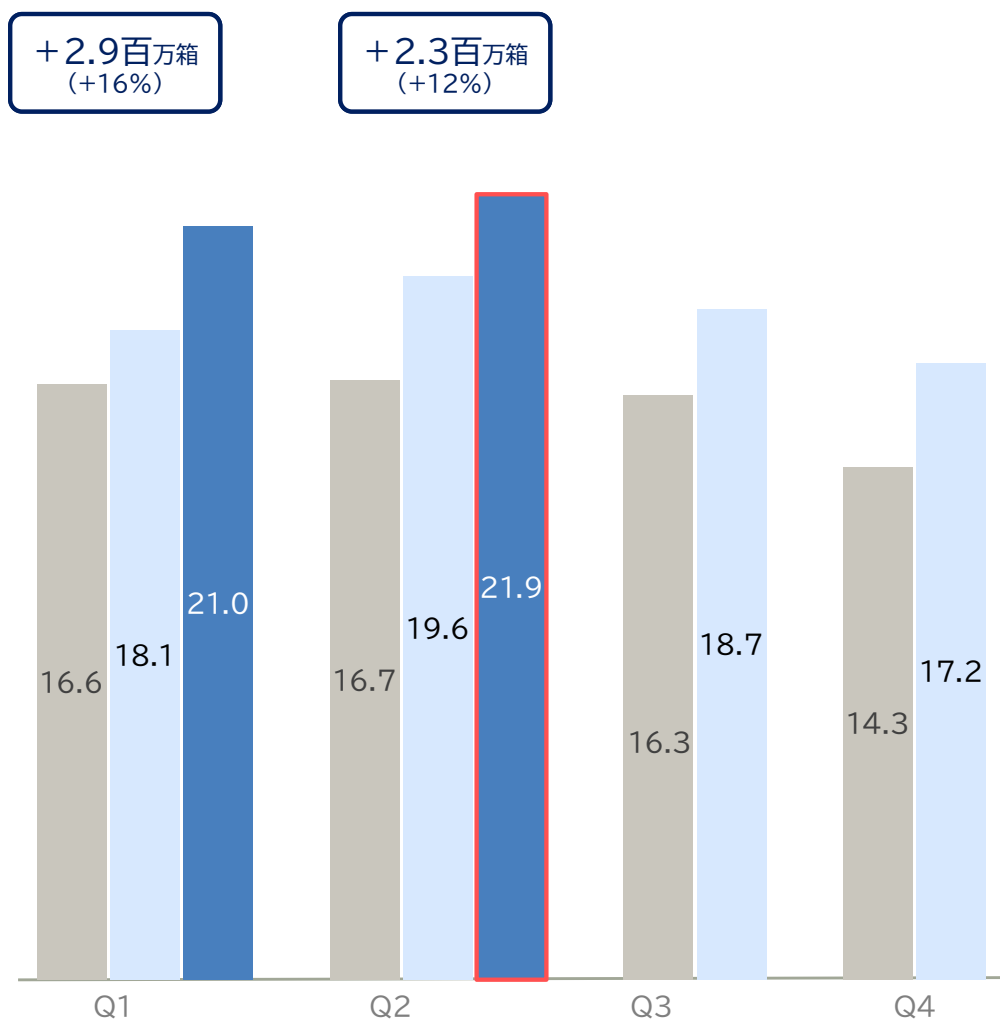


(参考)四半期業績の推移 ①

■ 2024年3月期
■ 2025年3月期
■ 2026年3月期

単位:百万箱*1

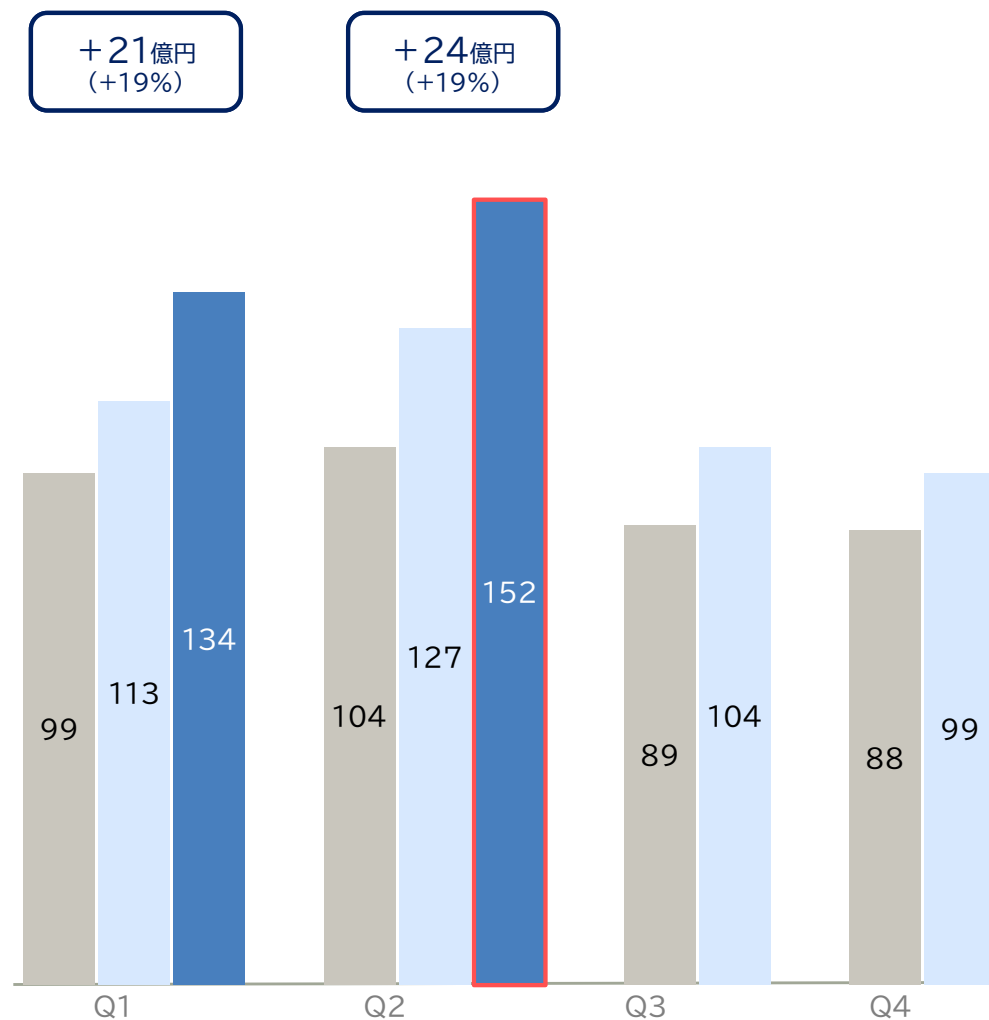
生産数量



■ 2024年3月期
■ 2025年3月期
■ 2026年3月期

単位:億円

売上高

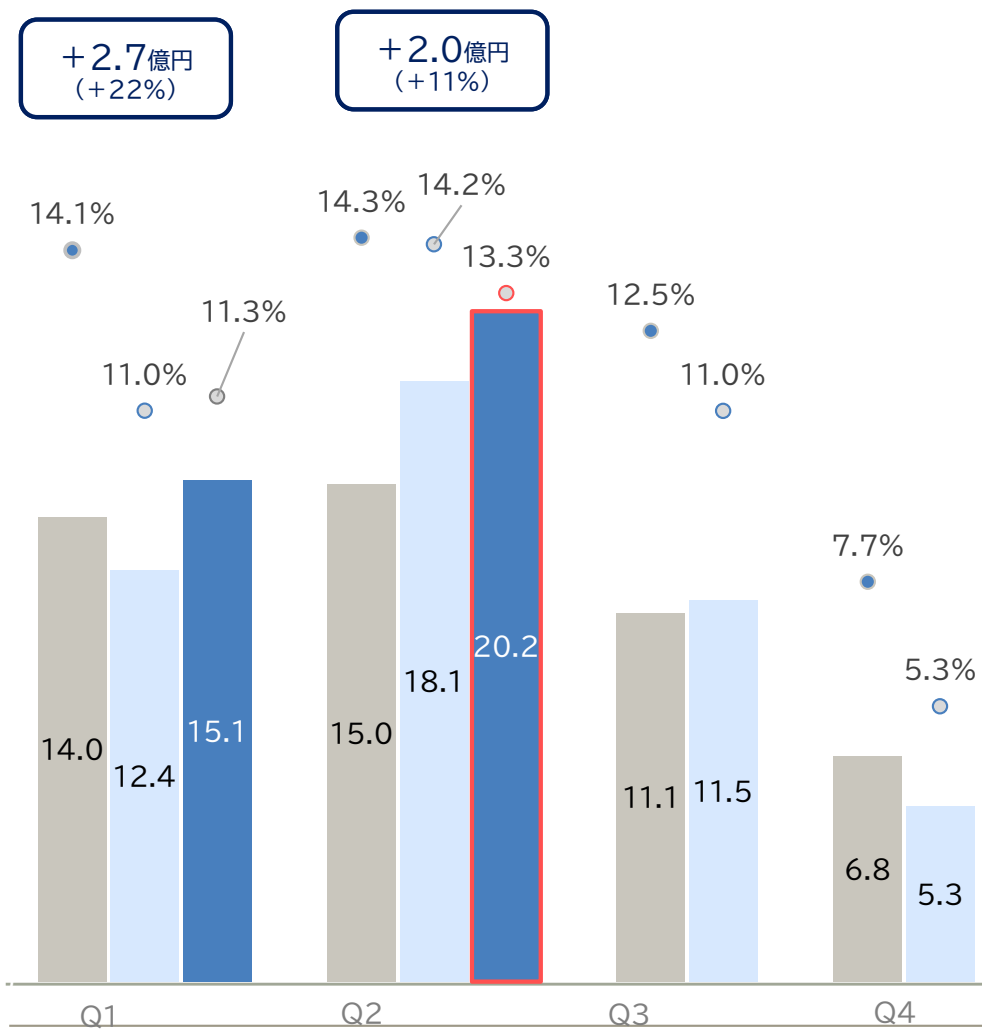


(参考)四半期業績の推移 ②

■ 2024年3月期
■ 2025年3月期
■ 2026年3月期

単位:億円

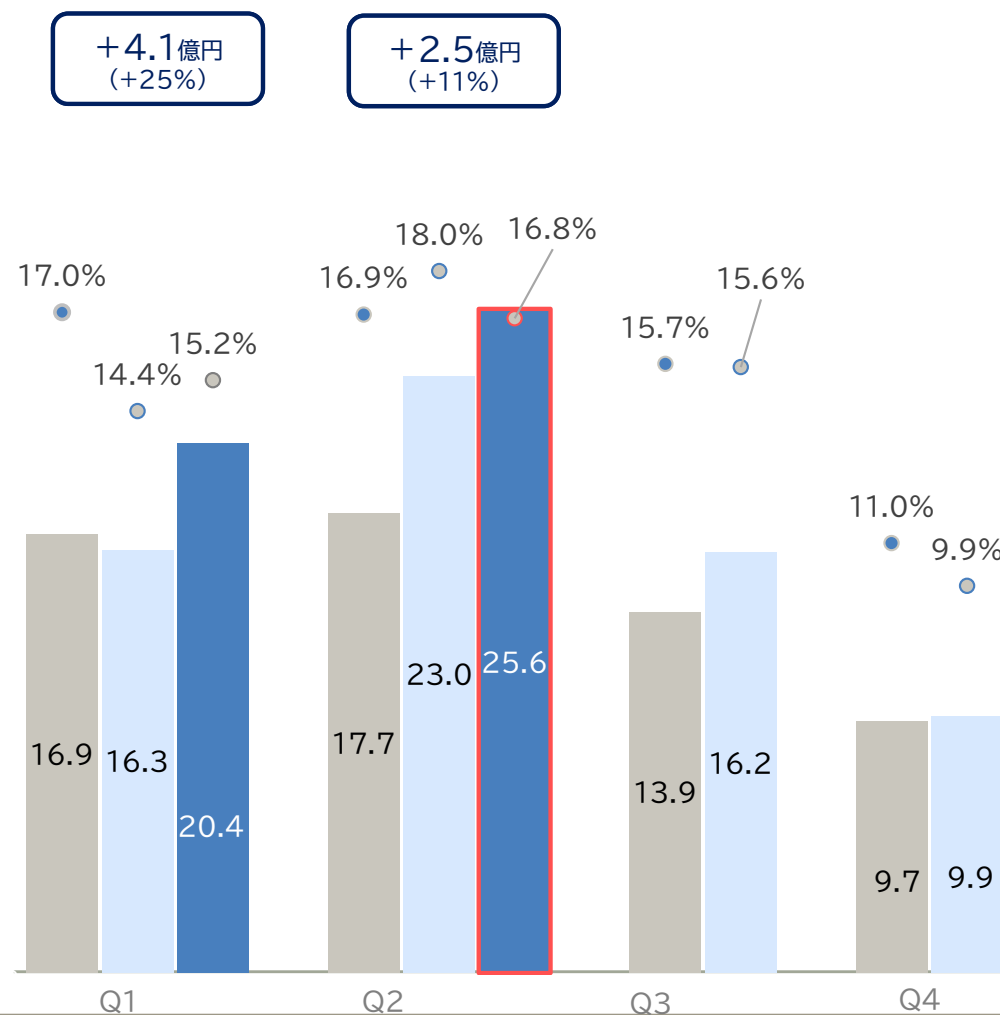
営業利益/営業利益率



■ 2024年3月期
■ 2025年3月期
■ 2026年3月期

単位:億円

EBITDA/EBITDAマージン



財政状態:2026年3月期 第2四半期

Nビバレッジや御殿場工場への設備投資等により、固定資産が前期末比31億円増加。また、設備投資資金を借入で賄ったことにより、純有利子負債が32億円増加しました

単位:百万円	2025年3月期		2026年3月期 第2四半期		
	金額	構成比	金額	構成比	増減
流動資産	12,443	37%	14,799	38%	+2,355
(現預金)	3,014	9%	4,013	10%	+999
固定資産	20,763	63%	23,904	62%	+3,140
資産合計	33,207	100%	38,703	100%	+5,495
流動負債	10,811	33%	13,876	36%	+3,065
固定負債	8,165	25%	9,266	24%	+1,100
(有利子負債)	12,401	37%	16,655	43%	+4,254
負債合計	18,976	57%	23,142	60%	+4,165
純資産	14,230	43%	15,561	40%	+1,330
負債及び純資産合計	33,207	100%	38,703	100%	+5,495
【参考情報】					
純有利子負債EBITDA倍率*1	1.4x	-	1.7x	-	+0.3pt

*1:EBITDA倍率は直近12か月の実績にもとづきます

キャッシュフロー:2026年3月期 第2四半期

営業キャッシュフローは前期比微減の33億円の収入、投資キャッシュフローは成長投資の実行により前期比18億円増の54億円の支出となりました

単位:百万円	2025年3月期 (第2四半期累計)	2026年3月期 (第2四半期累計)	増減
営業活動による キャッシュフロー	3,375	3,337	▲38
投資活動による キャッシュフロー	▲3,570	▲5,460	▲1,890
(設備投資)*1	▲2,880	▲5,466	▲2,586
フリーキャッシュフロー*2	▲194	▲2,123	▲1,929
財務活動による キャッシュフロー	▲112	3,122	3,235
(有利子負債の増減)	374	4,254	3,880
(配当金支払)	▲483	▲627	▲144
現金及び現金同等物の 期末残高	3,429	4,013	584

*1:有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出の合計で算出しています

*2:フリーキャッシュフロー=営業CF+投資CF

成長投資実績及び今後の計画:2026年3月期 第2四半期累計及び通期見込

成長投資のうち、Nビバレッジ(水飲料ライン・倉庫建設)や御殿場工場第2ラインの工事が順調に進捗しています

(単位:億円)	26/3期		27/3 期以降	コメント
	2Q累計	通期見込		
LDC 既存工場	-	0	82	● 岩手工場ライン更新(+8百万箱/年。28/3期下期完了予定) ● なお、通常の設備維持更新は約10億円/年を予定
御殿場工場	13	19	48	● 500ml飲料ライン増設(8百万箱/年。27/3期下期稼働予定) ● 倉庫内業務の省人化
子会社/M&A Nビバレッジ	26	38	17	● ボトル内製化(工事・支払完了) ● 500ml水飲料ライン増設(3百万箱/年。26年4月稼働予定) ● 生産数量増に対応した倉庫の建設
Oビバレッ ジ・群馬ビバ レッジ	3	36	47	● 日田工場:ボトル内製化(工事・支払完了) ● 山中湖工場:ボトル内製化(10月工事完了。支払未了) ● 群馬ビバレッジ:26年1月にポッカサッポロフード&ビバレッ ジの群馬工場を取得予定。生産能力増強や収益性改善(ボトル 内製化)などの成長投資を含めて投資総額は約77億円
合計	42	93	194	

1. 2026年3月期 第2四半期 業績

2. (参考) 会社紹介

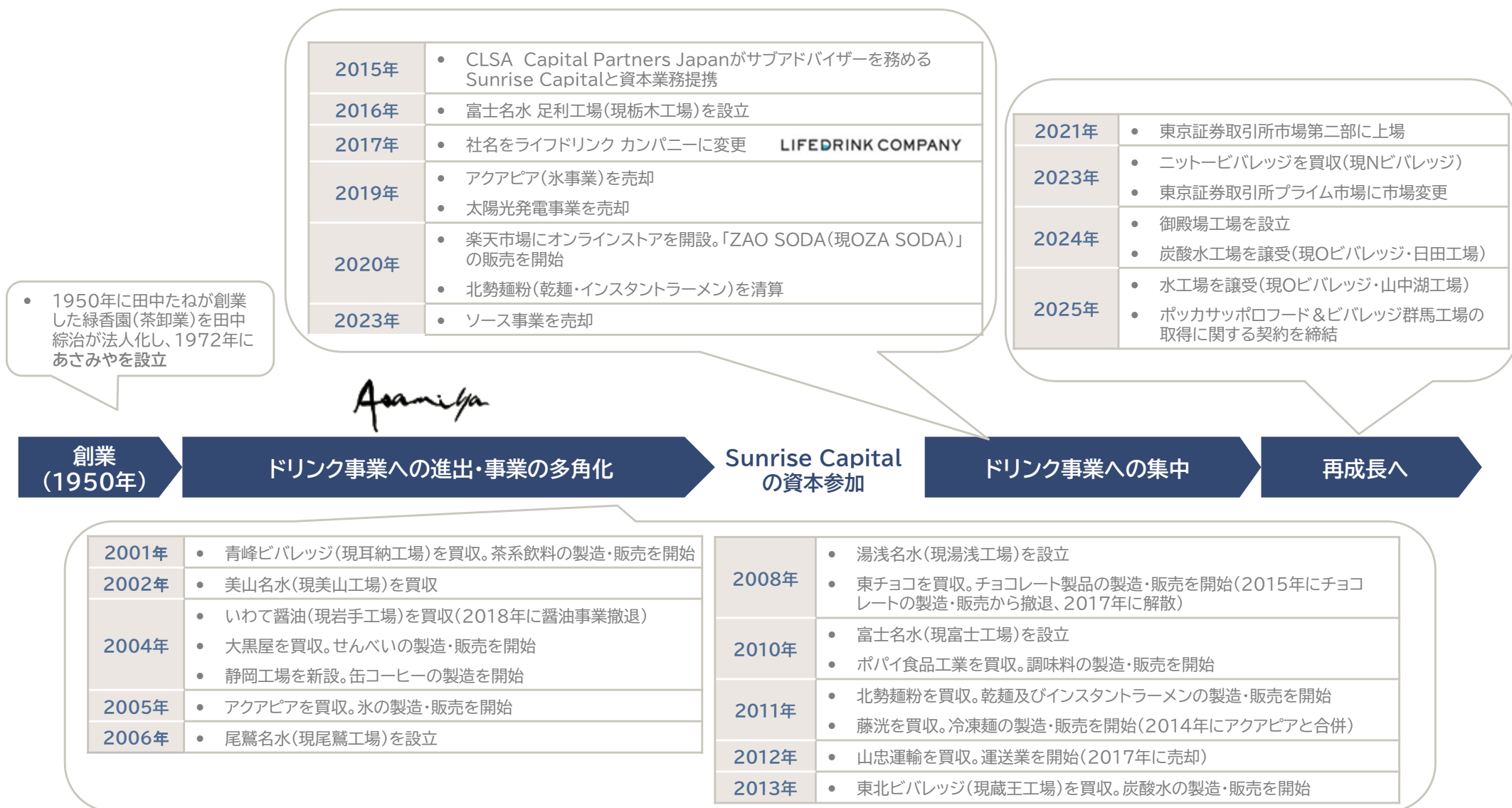
会社概要

当社は大阪を本社所在地とし、「水」「お茶」「炭酸飲料」の製造販売を行うドリンク・リーフ事業を主たる事業としています

会社名	株式会社ライフドリンク カンパニー(英:LIFEDRINK COMPANY, INC.)
代表者	岡野 邦昭
創業	1950年(設立:1972年)
本社所在地	大阪府大阪市
事業内容	● ドリンク・リーフ事業－水飲料/茶系飲料/炭酸飲料・茶葉製品の製造・販売
事業所一覧	● 大阪本社・東京支社 ● 工場10カ所(飲料＝岩手、蔵王(山形)、栃木、富士(山梨)、御殿場(静岡)、尾鷲(三重)、美山(京都)、湯浅(和歌山)、耳納(福岡)、他＝知覧(鹿児島)) ● 連結子会社:Nビバレッジ株式会社(富山県朝日町)、Oビバレッジ株式会社(大分県日田市/山梨県山中湖村)
従業員数*1	746名(154名) 2025年9月末時点
備考	東京証券取引所プライム市場(証券コード:2585)

*1:連結の従業員数。従業員数は、末日時点の就業人員(社外から当社への出向者を含む。)であり、臨時雇用者数(パートタイマー、人材派遣会社含む。)は、()外数で記載しております

当社は会社設立53年。2023年6月にプライム市場に上場しました



企業理念

当社は「おいしさの中心、安心の先頭へ」を企業理念として、「大切な人に、飲ませたいものだけを」を行動指針として活動しています

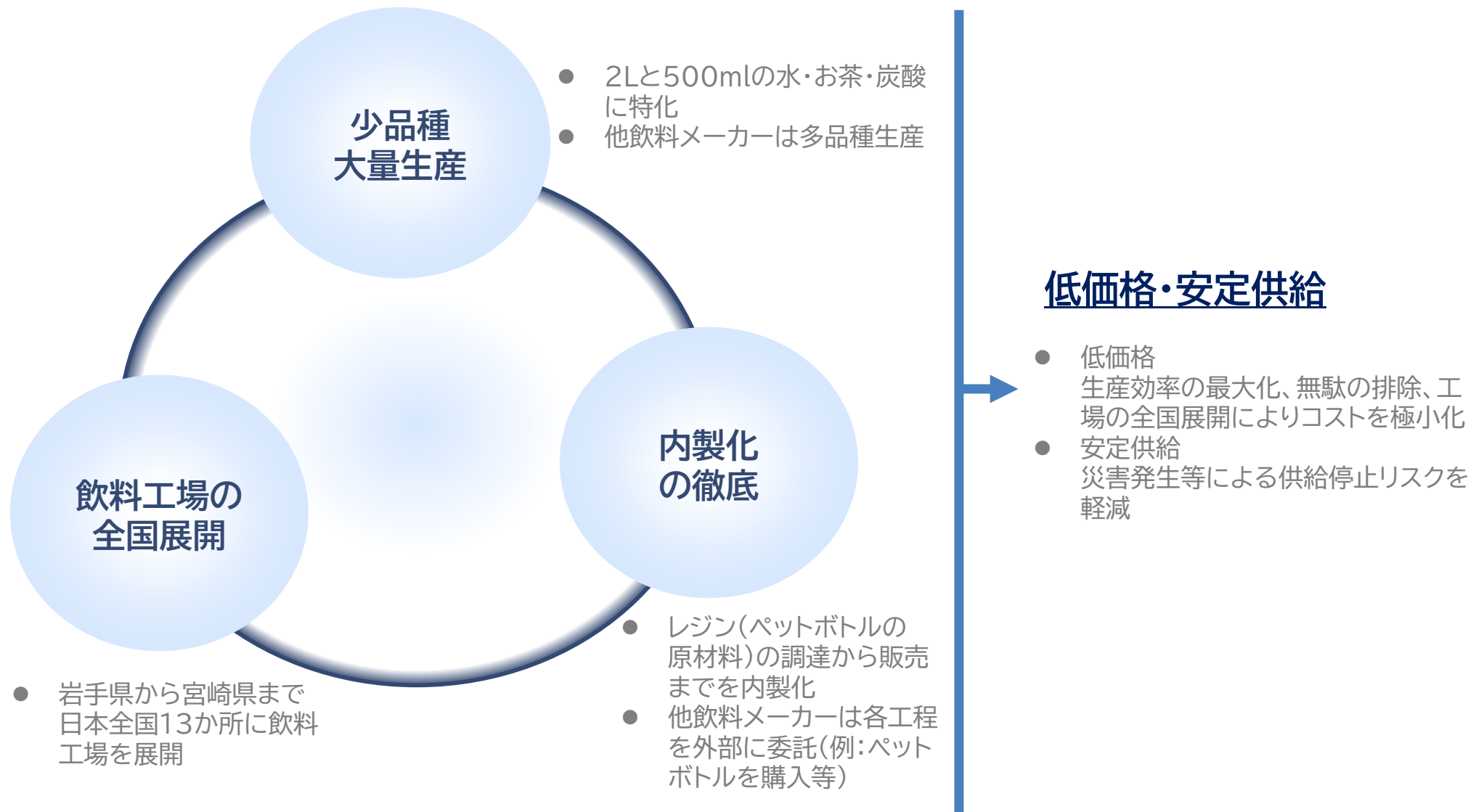
おいしさの中心、安心の先頭へ。

赤ちゃんからご高齢の方まで、
すべての人の“いつも”に寄り添える会社であるために。

株式会社ライフドリンク カンパニーは、
“おいしさのスタンダード”と“確かな安全性”を追求し、
朝起きてから夜眠るまで、毎日のあらゆるシーンで
選んでいただける味と品質を持った商品をお届けしていきます。

特徴と強み

当社は「少品種大量生産」「内製化」「工場の全国展開」により、「低価格」な飲料を全国に「安定的に」提供するという強みを有しています



特徴と強み:少品種化

当社は液種を水・お茶・炭酸飲料、容量を2L・500mlに集中。各工程で発生する無駄の極小化を実現しています



LDC 自然の恵み天然水
500ml/ 2L



強炭酸水 OZA SODA
500ml



LDC お茶屋さんの緑茶
500ml/ 2L



LDC お茶屋さんの烏龍茶
500ml/ 2L



彩水-あやみず-
500ml/ 2L



彩茶-あやちゃ-
500ml

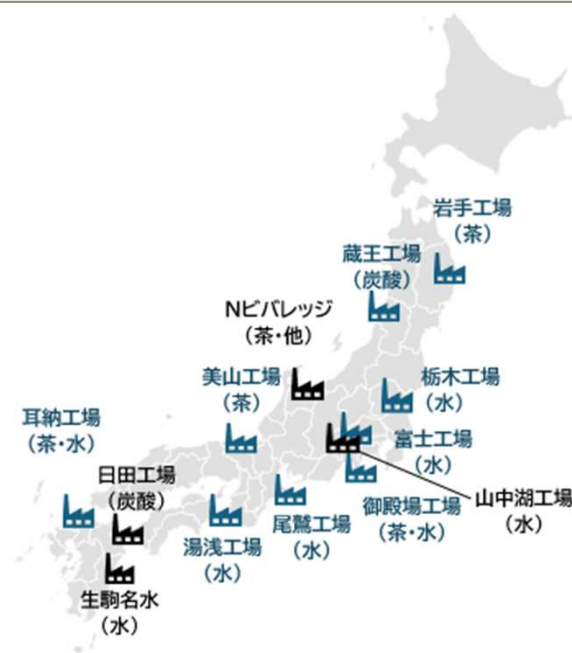
特徴と強み:内製化、工場の全国展開

当社グループは各工程の内製化により主に製造コストを低減。また、工場の全国展開により、物流費の抑制及び安定供給を実現しています

調達から販売までの内製化



飲料工場の全国展開

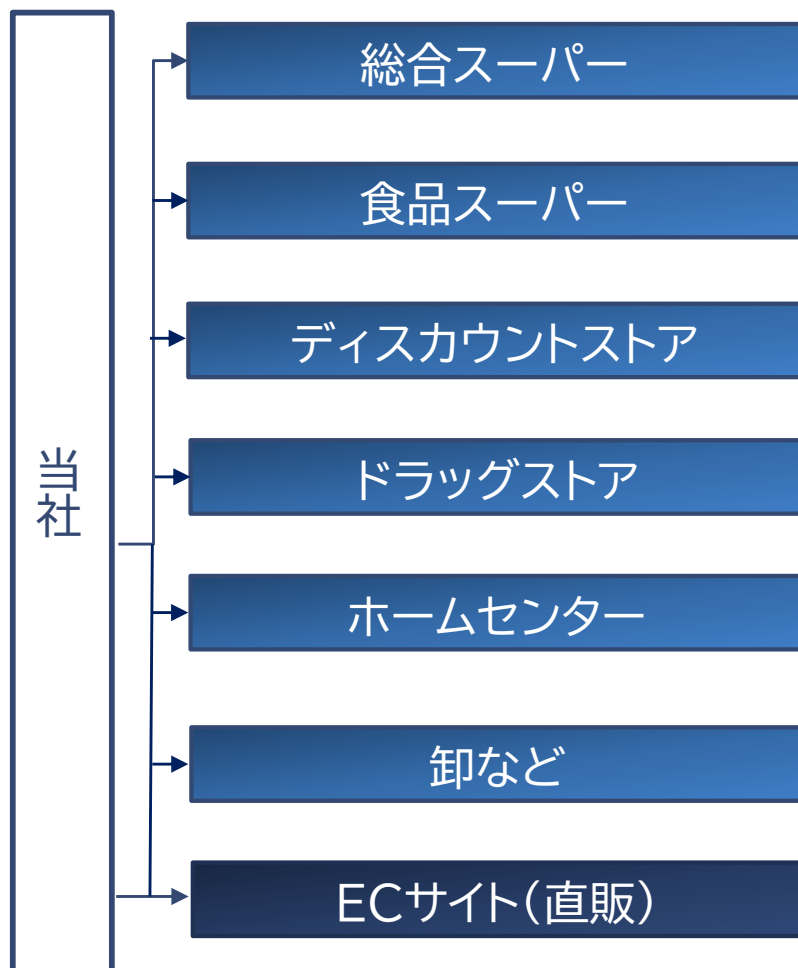


- 岩手工場(岩手県)
 - 蔵王工場(山形県)
 - 栃木工場(栃木県)
 - 富士工場(山梨県)
 - 御殿場工場(静岡県)
 - 美山工場(京都府)
 - 尾鷲工場(三重県)
 - 湯浅工場(和歌山県)
 - 耳納工場(福岡県)
- 子会社/関連会社
- Nビバレッジ(富山県)
 - Oビバレッジ(大分県・山梨県)
 - 生駒名水(宮崎県)

当社の販路：小売企業との関係、EC展開

各業態における主要な小売企業との関係を構築。EC事業は、主力商品や直営店舗が各モールの賞を受賞するなど、順調に拡大しています

小売企業との強固なパートナーシップ



EC展開によるダイレクトチャネルの拡大

主力商品

強炭酸水
「OZA SODA」



楽天市場 年間ランキング
水・ソフトドリンクジャンル賞
3年連続1位受賞

店舗

- ・ 自社EC
- ・ 楽天市場
- ・ Amazon
- ・ Yahoo! ショッピング
- ・ Qoo10
- ・ au PAY
- ・ dショッピング

- 楽天ショップ・オブ・ザ・イヤー2024*1
 - ✓ 総合賞 5位
 - ✓ 水・ソフトドリンクジャンル大賞 (2年連続)
- Amazon.co.jpマーケットプレイスアワード2024*2 カテゴリー賞
- Qoo10AWARDS2024 最優秀賞

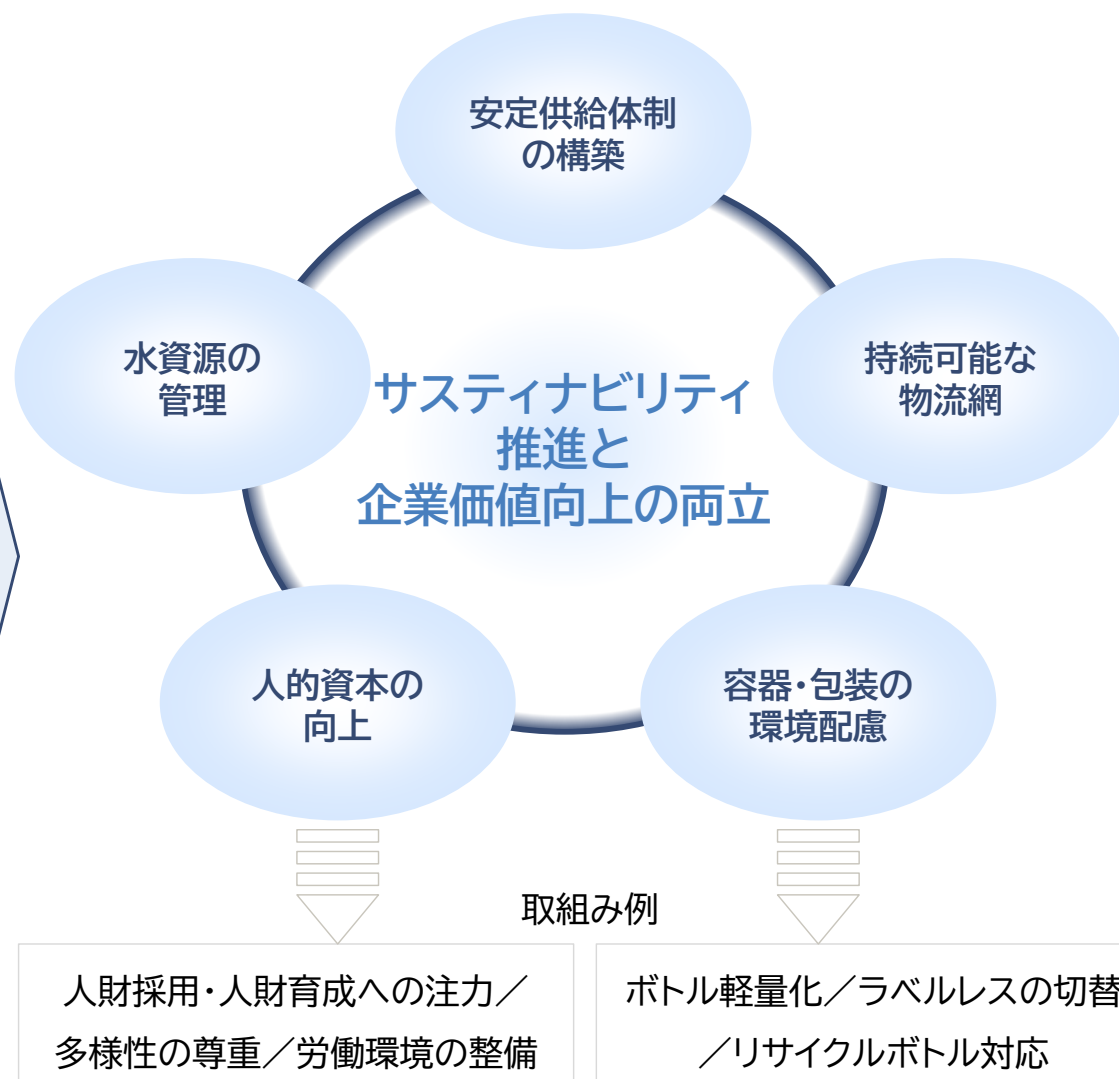
*1:集計方法:「楽天市場」に出店する全国約57,000店舗(2024年11月時点)の中から、ユーザーによる人気投票および店舗の売上げなどを総合的に評価し年間ベストショップを選出するもの*2:参照リンクhttps://www.amazon.co.jp/b/?ie=UTF8&node=26809570051&ref_asa24spr

サステナビリティに関する考え方及びマテリアリティ

基本方針に基づき、より長期的な視点から「サステナビリティ推進と企業価値向上の両立」を目指します

基本方針

高品質で安全・安心な
飲料・食品を安定的に供給する
ことを通じて、消費者の生活
インフラを継続的に支える
社会的責任を果たす



LIFEDRINK COMPANY
